令和８年度千葉県人権ユニバーサル事業

「アディクトを待ちながら」上映会＆監督講演会



監督・脚本：ナカムラサヤカ

高知東生　橋爪遼　宍戸開　升毅
青木さやか　中村優一　中山夢歩　下田大気　塚本堅一　武藤令子

プロデューサー：田中紀子
配給：マグネタイズ　配給協力：ミカタ・エンタテインメント
制作協力：スパイスクッキー　製作：ギャンブル依存症問題を考える会

2024年／日本／82分／ビスタ／カラー／5.1ch

薬物、アルコール、ギャンブルなど様々な依存症から回復した人々を描いたヒューマンドラマ。実際の依存症体験者が多数出演。当事者たちの葛藤と回復への希望を描いている。

2026 **12.6**（日）13:30～16:40

佐倉市立美術館！...GC
Sakura City Museum of Art

4階ホール（地図裏面）

参加費無料

■主催：千葉県　■企画・運営・申込み先：NPO法人ワーカーズコレクティブ風車
☎/Fax：043-309-8667　e-mail：reuse.fuusha@nifty.com、またはＱＲコードから→
＊後援：佐倉市、佐倉市社会福祉協議会

「アディクトを待ちながら」Story

数々のヒット曲を持つ大物ミュージシャン、大和遼が覚醒剤使用で逮捕された。それから２年。大和は依存症患者らで結成されたゴスペルグループ「リカバリー」で互いに支え合い、コンサートを開こうとしていた。しかし、コンサート当日、大和は時間に現れない。逃げたのか？ それともスリップ(再使用)？

果たしてコンサートは開催できるのか…。主演の高知東生さんのほか、実際に違法薬物事件などにかかわった俳優や、依存症当事者・その家族も多数出演。

ナカムラサヤカ監督プロフィール

2001年から 助監督として 映画 テレビドラマに携わる。親族のギャンブルの問題に巻き込まれた経験がある。仕事仲間の紹介で「ギャンブル依存症問題を考える会」代表の田中紀子さんと出会う。そこで良かれと思って借金の肩代わりなどをすることが、逆に依存症を継続させることになることを知る。

2020年、当事者が主演する作品の制作過程で出演依頼を多数断られる。アディクションへの理解のない時期でもあり、「関わりたくない」という世間の風潮を実感。

＜その他の作品＞

ギャンブル依存症を描いた「ミセス・ロスト～インターベンショニスト・アヤメ」、ギャンブル依存症の回復施設を描いた「前略ハルカ様」、ギャンブル依存症を描いた「嘘つきは○○の始まり」、雑誌モデルたちの青春群像劇「FASHON STORY Model」、他多数。

親族の問題から「人生をかけて依存症について伝えていく役割を担った」と確信し、映画作りに取り組んだナカムラさん。映画製作上のエピソード、映画製作に込めた思い、依存症への理解はどうあるべきか？ などについてお話しいただきます。質疑応答の時間もあります。ご一緒に考えませんか？

参加費 無料　**定員 99人**





ナカムラサヤカさん